

国立天文台の検討グループ Study Groups in NAOJ

齋藤正雄

国立天文台副台長(財務担当)

国立天文台のプロジェクト

NAOJ Projects

(国立天文台組織運営規則による)

- 国立天文台のプロジェクトとは以下のとおり
 - C: 共同利用などの運用段階にあるプロジェクト
 - B: 天文台として実現を目指して建設を進めているプロジェクト
 - A: 小規模プロジェクトとして認定されたもの
- その他にセンター、科学研究部がある

	プロジェクト名
C	水沢VLBI観測所
C	野辺山宇宙電波観測所
C	太陽観測科学プロジェクト
C	ハワイ観測所
C	天文シミュレーションプロジェクト
C	チリ観測所
C	アルマプロジェクト
B	重力波プロジェクト
B	TMTプロジェクト
A	JASMINEプロジェクト
A	RISE月惑星探査プロジェクト
A	SOLAR-Cプロジェクト
A	すばる超広視野多天体分光器プロジェクト
A	すばる広視野補償光学プロジェクト
A	ASTEプロジェクト

2018年度の状況

Project Status in 2018

- 10年以上新しいプロジェクトが立ち上がらない状況で、将来計画の創出が停滞していた
- そこで前執行部が将来の天文学の新展開を起こすために2018.8にAプロジェクトの申請方法や位置づけを変えた
 - Aプロジェクトの制度を使い、明確に期間を決めた上でプロジェクトの立案と改廃を促進する
 - 定められた設定目標をクリアーした場合はプロジェクト開始または延長する
- 規則によれば国立天文台におけるプロジェクトの設置改廃については台長の求めに応じて企画会議、幹事会議、運営会議などで審議する。
- 2018年度は幹事会議にて第一次審査および第二次審査を実施し、その審査結果を踏まえて企画会議にて最終審査し台長に答申した。
- 答申を踏まえ、台長がプロジェクトの期間および達成目標を定め、プロジェクト室を設置し、そしてプロジェクト長を指名した。

SKAとngVLAの審査と検討グループ

A project application review and Study groups

- 幹事会による審議を経て2019.2の幹事会でSKA1とngVLAはアクションがそれぞれ設定され、pre-phase projectsとしては許容できるとの報告がされた
- 企画会議、幹事会議の審議を経てSKA1検討グループ (SKA1 Study Group)とngVLA検討グループ (ngVLA Study Group)の設立が2019.3に台長へ答申された。
 - 注) 今後プロジェクトへと進化する可能性があるという位置づけである。つまり、他のカテゴリーのプロジェクトとは大きく位置づけが違い、まだ正式なプロジェクトとして定義された訳ではない。そこで、この名称を「検討段階にある計画」とする。そのため名称もプロジェクトではなく検討グループとなった。

検討グループの規則

NAOJ Regulations on Study groups

- 検討グループの設置にあたり、[国立天文台組織運営規則](#)が変更された
- 第5条
 - 5 プロジェクト室のほか、別表第3の2に分類及び定義する検討グループを置く。

別表第3の2(第5条関係)

分類	定義	検討グループ名
検討グループ	検討段階にある計画	SKA1検討グループ
		ngVLA検討グループ

検討グループの活動

Running Study groups

- 検討グループにはChargeが課せられそれをやり遂げる活動を行っている
- 人事(Staffing)
 - グループ長があらかじめ提案した人員で活動をすすめている
 - 検討段階の活動ということで人事要求はしていない
- 予算(Budget)
 - プロジェクト等は前年度に予算申請していただいているが、検討グループはこれまで当該年度にリーダーシップ経費へ予算を提案している。幹事会で他の案件とともに審議して予算決めている。

検討グループの今後と課題

Issues on Study groups

- 検討グループからAプロジェクトに進めようとしても、国立天文台の運営費交付金は既存プロジェクトを何とか支えているレベルであり、今後も下がっていく見通しである。そのため新規プロジェクトの入り込む余地がない。
- 新規プロジェクトは外部資金で進めるか、既存プロジェクトの縮小、廃止をして進めるかという厳しい状況である。

参考：将来計画に関する国立天文台のプログラム

NAOJ Platform to start a new project

アイデア

- アイデアを出し、メンバーを集め、少人数で議論する
- 研究交流委員会事業(研究集会、客員教授等、滞在型共同研究)、サバティカル

議論する フロントローディング

- 広く議論し、技術開発などのフロントローディングを行う
- 研究交流委員会事業(研究集会)、科学戦略委員会下のWG
- 研究交流委員会事業(共同開発研究)、大学支援経費、ATC共同利用

プロジェクト化 へ向けた活動

- 国立天文台の経費で、検討あるいはプロジェクトの活動をする
- 国立天文台の検討グループに申請
- 国立天文台の新規Aプロジェクトに申請

将来計画議論の場は将来シンポジウム

研究交流委員会

[国立天文台研究交流委員会](#)

科学戦略委員会

[国立天文台科学戦略委員会](#)

大学支援経費

[研究者の方向けおすすめコンテンツ](#)